

ヘリコバクター・ピロリ抗原キット

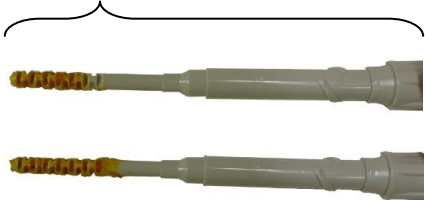
『テストメイト ラピッド ピロリ抗原<sup>®</sup>』 — 採便量の目安及び検体希釈について —

質問：テストメイト ラピッド ピロリ抗原<sup>®</sup>を使用していますが、採便容器へ過剰に検体に加えられ、コントロールが発色しない、テストシートでの展開不良、ノズルからの滴下不良等の操作不具合があります。この場合どのようにしたらよいですか？ また採便量の目安を教えてください。

テストメイト ラピッド ピロリ抗原<sup>®</sup>の採便方法は採便容器に同梱の「ヘリコバクター・ピロリ検査のための正しい便のとり方」を参照してください。検体が過剰採取されたものに関しては反応シート上での展開不良を起こし、コントロールラインが発色しないなどの原因となることがあります。専用の採便容器で適正に採便された場合の採便量は約30mg（5mmの小片）です。採便容器には検体希釈液1mLが入っており、約30倍に希釈されます。また採便量の目安としては以下の写真もご参照ください。

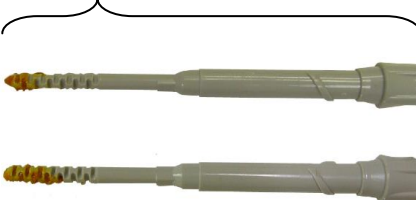
○良い例)

溝がすべて便でうまる程度



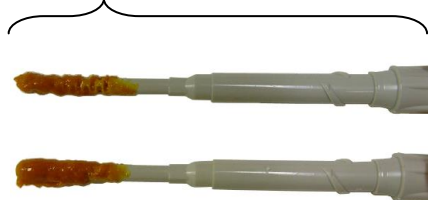
×悪い例)

採取量が少なすぎ



×悪い例)

採取量が多すぎ



既に検体希釈液へ過剰に混和してしまったものに関しては検体の取り直しを推奨しますが、万一検体の取り直しが困難の場合は以下の希釈方法を参照ください。

#### 「過剰採取された検体の希釈方法」

過剰採取された採便容器の中の検体は希釈可能です。採便容器の側面にある白ラベルをはがすと採便容器が二つに折れる構造になっております。そこからマイクロピペットやスポイトなどで検体を採取し、未使用の採便容器の検体希釈液を用いて、適宜希釈してください。

1. 側面のシールを剥がす



2. 容器を折る



3. 未使用の検体希釈液で適宜希釈する



※ 使用する臨床検体はすべて感染性があるものとみなし、実験用作業服、使い捨て手袋、ゴーグルなどを着用するなどし、すべての操作においてスタンダードプリコーション及び施設のガイドラインに従って取扱ってください。

製品情報 [www.bd.com/jp/poct/](http://www.bd.com/jp/poct/)

製品関連・資料請求のお問い合わせ

カスタマーサービス TEL:0120-8555-90

販売元



日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ

製造販売元



製造販売元  
わかもと製薬株式会社

〒103-8330 東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号